

静岡県浜松内陸コンテナ基地指定管理者評価委員会 会議録

1 開会

企業立地推進課長が開会の挨拶をした後、評価委員会の趣旨を説明。

2 事務局からの説明（指定管理者の概要、評価方法について）

事務局（企業立地推進課）から配布資料に基づき、指定管理者の概要及び評価方法について説明。

3 指定管理者からの報告

指定管理者である公益財団法人静岡県コンテナ輸送振興協会（佐藤専務理事）から、配布資料に基づき、令和5年度の管理運営実績等について報告。

4 指定管理者への質疑応答

【輸出入の統計データについて】

（評価委員）

- ・昨年度参考意見で出した統計資料の「その他」について、主なものを注釈として記載したことで分かりやすくなった。引き続き、可能な範囲で注釈を入れる、ある品目が安定して取扱われることが続くようであれば項目として外出しするなど、改善を続けてほしい。

【施設の利用目標について】

（評価委員）

- ・施設の利用目標とそれに対する実績を教えてほしい。
（指定管理者）
- ・施設の利用目標は利用率を上げることになる。コンテナフレートステーション（以下、「CFS」という。）の令和5年度利用率は、過去2か年と同様100%となっており、これを継続していくことが目標となる。また、コンテナヤード（以下、「CY」という。）の利用率は令和5年度で1.27%と非常に低い利用率になっている。実際には日中、特に午前中を中心に7～8割はCFSへ荷物を運ぶトラックに利用されているものの、トラックが頻繁に移動するため、利用率としてきちんとした把握ができない。把握できるのは、日を跨ぐような（固定して置いてあるような）もののみであり、これらの利用率が1.27%となる。

（評価委員）

- ・CYの利用率は実態とずれが生じているため、指標としては分かりづらくなっている。もう少し分かりやすい指標へ変えることはできないか。

(指定管理者)

- ・指標を急に変えるというのは、連続性の観点もあり難しいところがあると思う。輸出入量などは経済状況に大きく影響されるため、管理・評価できる指標として考えた場合、CFSの利用率などにならざるを得ないのではないかな。

【管理費の削減について】

(評価委員)

- ・経費削減の取組について、管理費含めてこれまでにかなり削ってきているが、まだ削減できる余地があるかどうか。
- ・むしろ、指定管理選定の3年前には予想できなかった物価の上昇が始まっている中で、同じ金額を掛けていてもサービスが手薄になるようなところが出ていないかを確認したい。

(指定管理者)

- ・これ以上の経費削減は厳しいところがあるが、物価が上昇する中でも、当基地は指定保税地域として料金が安く設定されており、利用者にも評価して使ってもらっている。サービスを削っているような部分はない。
- ・管理費、特に法人会計部分については、公益事業会計のものを充てずに運営することが望ましいが、公益事業として指定管理業務のみを行っているため、国の見解でも、場合によっては公益事業会計から法人会計へ収入を組み入れることが可能とされている。

(評価委員)

- ・経費が今後厳しくなるようであれば、予算のメリハリも付ける必要がある。例えば、施設の特徴からすれば、広報に力を入れなければならない施設ではない。老朽化が進む施設の修繕は計画的に行う必要があるため、広報費を削って修繕費に当てるといったことも検討していくと良いのではないかな。

【くん蒸棟について】

(評価委員)

- ・くん蒸棟の利用はあったか。

(指定管理者)

- ・くん蒸棟の利用実績はなし。以下のような理由から、今後、くん蒸棟が利用される見込みはないのではないかな。
 - － 外来生物を国内に入れないよう、輸入貨物の植物検疫の国の要綱では港頭地域で行うこととしており、内陸にあるコンテナ基地は制度上、想定されていない。
 - － 輸出用の木材こん包消毒について熱処理で行われている。
 - － 地球温暖化の問題からもコンテナ基地のくん蒸棟が使用する臭化メチルについては、製造について貨物の輸出入に際して行う検疫等用途が限定されており、規制が厳しくなっている。

(評価委員)

- ・利用が見込めないのであれば、くん蒸棟を取り壊すなどの検討をしても良いのではないかな。

(指定管理者)

- ・あり方検討の中で検討いただいていると思うが、すぐに取り壊しというのは、条例で設置が定められた施設であるため難しい。

(評価委員)

- ・維持費用はどうなっているか。

(指定管理者)

- ・令和2年度に県が補修工事を実施して以来、特に費用は掛かっていない。

【事業継続計画について】

(評価委員)

- ・事業継続計画を更新されているが、主な更新内容を教えてほしい。

(指定管理者)

- ・南海トラフに関する部分を主に更新した。

【基地の見学について】

(評価委員)

- ・基地の見学が令和5年度は3件あったが、どのように申込があるのか。

(指定管理者)

- ・主にホームページを見て、例えば国や市など関連機関の方から問合せが来る。

5 委員による意見交換、評価

委員による意見交換、評価を行うため、指定管理者はいったん退室。

(評価委員)

- ・管理経費の縮減はかなりのところまで進んでいる。これ以上はなかなか難しいと思われる。サービスの維持とのバランスには注意が必要。サービスの低下につながらない範囲で、経費の取組を続けてもらいたい。
- ・ホームページの更新は定期的に行われている。こうした施設があるということを知らない人も多いため、今まで以上に広報周知の方も取組んでもらいたい。

(評価委員)

- ・長年、利用の構造がある意味固定化している中で、新しいことに取組む・既存のものを変えるというのは難しいと思うが、安定的な運営を続け、県にも納入金を納めていることは評価したい。
- ・昨年度、参考意見として出した統計についても対応されていたり、BCPも随時見直されているなど、必要な対応はきちんとしていただいている。全般的に評価したいと思う。

(評価委員)

- ・物価高騰の中で決められた額を県に納入していたり、寄附金を受け取れるよう工夫している点は評価したい。

- ・今後、経費を一元的に削減するというよりは、使い方を考えながら削減していく必要があるのではないか。特に広報活動は、どこまで広報する必要があるかなどを検討し、維持管理に予算を回すなど、強弱を付けていく必要がある。

(評価委員)

- ・施設の利用目標については、評価することも考えて、目標に対する実績の説明をしてもらいたい。また、利用目標の指標は実態に合ったものにできないか検討してもらいたい。
- ・すでに大きな意味での施設の目標は達成されている面があるが、今後の目標をいつまでに決めるのかや誰の責任で決めるのか、指定管理者としての役割などがはっきりすると、評価する立場としてはやりやすくなる。

(評価委員)

- ・昨年度に参考意見で出した統計の変更など、真摯に対応していることは評価できる。また、安定した管理運営をしている点も評価できる。
- ・一方で、今後経済状況も変わりやすい環境の中でどうしていくのか、施設も古くなってきた中でどうしていくのかは、施設の単年度での管理運営とは別の話になるが、方策やビジョンのようなものを検討して行く時期ではないかと感じている。

6 評価発表、講評

- ・総合評価については、「良」評価できるという結果になった。
- ・指摘事項は特になし。2点未満となった項目もなかった。
- ・参考意見として次の3点を示すので、参考としてほしい。
 - ア 安定した運用をしていることや、昨年度の参考意見にも適切に対応されていることは評価できる。
 - イ 現在の利用目標を含め、より適切な利用目標を設定いただき、その達成に向けてしっかりと運営いただきたい。
 - ウ 経費削減の努力が続けられているが、これ以上の経費削減が難しくなる中、利用者へのサービスが低下することはないよう注意してほしい。
また、限られた経費の中で老朽化が進む施設を適切に管理するため、修繕計画を立てて計画的に執行してほしい。